

# Urban Nature Kitakyushu

## 北九州いきものクエスト

北九州市は九州を代表する大都市ですが、そのまわりには都市に近接する豊かな自然が残り、"アーバンネイチャー"にあふれるまちです。そんな北九州市に生息・生育する動植物の写真を、スマートフォンアプリ「Biome（バイオーム）」に投稿してもらうことで、北九州市内のいきものの発見情報を集めました。



投稿数  
3,099 件

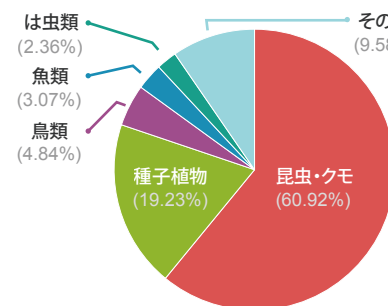
投稿種数  
1,213 種

投稿者数  
194 名

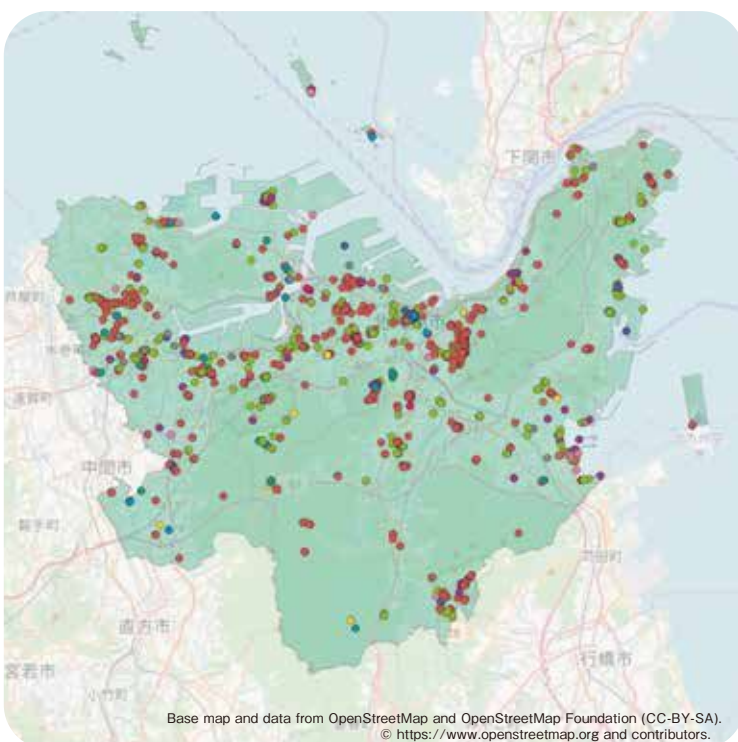


### 調査の結果

2025年6月1日から7月31日の2か月間の調査で、3,098件、1,213種のいきものの情報が寄せられました。もっとも多かったいきものの分類は「昆虫・クモ」で、「種子植物」「鳥類」と続き、4位には「魚類」がランクインしました。魚類以外の海辺のいきものについても



多く発見されており、響灘・関門海峡・周防灘の3つの海に囲まれている北九州市の特徴が表れる結果となりました。



### 調査で見つけた // 注目のいきものたち

クサフグ  
フグ目フグ科



アカヒトデ  
アカヒトデ目アカヒトデ科

ヤマトフキバッタ  
バッタ目バッタ科



キカラスウリ  
ウリ目ウリ科



ニホンヤモリ  
有隣目ヤモリ科



## 1 そね ひ がた 曽根干潟

### カブトガニ

カブトガニ目カブトガニ科  
2億年前の地層で見つかった化石と同じ姿をしているので、「生きた化石」と呼ばれます。7月から8月が産卵の季節で、メスの甲羅にオスがぴったりとくっついた状態（抱合）の写真も寄せられました。



福岡県 絶滅危惧 I A 類

### ハマボウ

アオイ目アオイ科  
朝に咲いて夕方にはしぼんでしまう、一日花です。名前に「ハマ」とつくように、沿岸部の砂泥地に生育します。海水が平気な種子は海を渡って広がります。



### ハマボウ

アオイ目アオイ科  
朝に咲いて夕方にはしぼんでしまう、一日花です。名前に「ハマ」とつくように、沿岸部の砂泥地に生育します。海水が平気な種子は海を渡って広がります。

## 2 ひら お だい 平尾台

### ヒゴタイ

キク目キク科  
小さな花がたくさん集まった、球状の瑠璃色の花が特徴です。低地から山地の乾いた草原に生育します。本種は大陸系遺存植物とされており、日本がユーラシア大陸と陸続きだった時代に分布を拡大と考えられています。



福岡県 絶滅危惧 I A 類



### カワラヒワ

スズメ目アトリ科  
風切羽と尾羽の基部は鮮やかな黄色で、翼を広げると良く目立ちます。成鳥は植物食で、和名の「ヒワ」はアワやヒエを食べることに由来します。平尾台では本種をはじめ、様々な野鳥が発見されました。

## 3 きた きゅうしゅう し ひびき なだ 北九州市響灘ビオトープ

### オオヨシキリ

スズメ目ヨシキリ科  
夏鳥として渡来し、水辺のヨシ原で繁殖します。「ギョギョシ」というさえずりは「行々子」という夏の季語になっています。さえずっている時には頭の羽毛が逆立ちます。



福岡県 準絶滅危惧

### ガマ

イネ目ガマ科  
ソーセージのような茶色い穂が特徴の、水辺に生育する植物です。晩秋になると熟す果実には綿毛がついていて、強風やいきものがぶつかるなどの衝撃を受けると、もこもこと爆発するように綿が弾けます。



| 絶滅の恐れのある種のカテゴリー |                                                | (出典) 福岡県：福岡県レッドデータブック 2024 |
|-----------------|------------------------------------------------|----------------------------|
| 絶滅危惧 IA 類       | ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの                   |                            |
| 準絶滅危惧           | 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種 |                            |